

おきなわ木づかい推進事業(後継)

1. 事業目的・概要

- ✓ 安定かつ持続的な林業振興のために、地域資源である県産木材の利用を推進し、森林資源の循環利用を継続的に繋げる。
- ✓ 県内外において本県の森林・林業の特性をPRし、県産木製品のエシカル消費を促す普及啓発及び販売PR支援等を実施する。

➤ エシカル消費(論理的消費)とは: 地域の活性化や雇用なども含む、人や社会・環境に配慮した消費行動 消費者庁HPより

2. 事業期間・予算

令和7年度～9年度(3年間) 県単事業: 11,914千円(R7)

3. 事業内容

○ 県産木材は高くても買う・使う価値がある! を知ってもらう

沖縄の森を未来に繋ぐための意識イノベーション

➤ 県内外・幅広い世代向けの普及啓発活動(展示・体験・SNS発信等)

○ 地産地消やエシカル消費意識の高い個人・企業向けの展示即売会

○ 県産木材の利用・販売施設を増やす(県産木材発信拠点)

4. 事業効果(波及効果)

- ✓ 暮らしの中に木を取り入れることを考える
- ✓ 地域材木製品の消費量が増える
- ✓ 沖縄の森林資源の循環利用型社会の構築へとつながる
- ✓ SDGsの目標達成への貢献

Goal

高価格帯での県産木材・木製品の取引が増えることで、林業事業体及び木工業者の経営が安定し、適切な森林管理が維持できる。



那覇空港、ライカムでの情報発信(多言語化)



県外(東京都)での県産木製品販売会の開催



青空木育キャラバンin首里城公園



森林の循環利用はSDGsの17のゴールのうち、14のゴールに貢献しています。